

福山美術協会
第 70 回展
記念作品集





ご挨拶

福山美術協会理事長

藤田 伸一

洋画集団「ぶらんだるじゃん」は、大正14年2月第一回美術展を開催し、第12回美術展をもって発展的解消をおこないました。

戦後目覚ましい洋画の躍進に大きな役割を担って、昭和23年秋、新しい福山美術協会が誕生し、以来、本会は、60周年記念画集・第65回記念作品集を作ってきました。このたび、第70回福山美術協会会員展「記念作品集」を発刊する運びとなりました。

会員は、日頃から絵画を通して新しい感覚・想像力の追求、表現の自由、豊かな創造性を育む努力を続けてまいりました。これからも地域芸術文化の向上発展に励んでまいります。

福山美術協会記念作品集発刊にご支援ご協力をいただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。



祝 辞

福山市長
枝 広 直 幹

福山美術協会の会員展が第70回の節目を迎えられ、『第70回展記念作品集』を発刊されますこと、心からお喜び申し上げます。

福山美術協会におかれましては、1948年（昭和23年）の発足以来、美術の研究や指導をはじめ、毎年開催している福山文化連盟総合文化祭の協賛の事業である会員展、50回に及ぶ公募展の開催など、市民と密着した地道な活動を展開され、本市の芸術・文化の発展に多大な御貢献をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

時代は今、豊かな感性を育むため、芸術・文化の重要性が高まっています。優れた美術作品は、接した人の心を豊かにし、活力を生み出す力を与えてくれます。ここに掲載される作品は、いずれもすばらしい作品であり、作品集としてまとめられることは大変意義深いものであると思えます。

本市といたしましても、こうした芸術・文化の振興による豊かなまちづくりの実現に向け、取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬ御力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、第70回の節目を契機として、福山美術協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



福山美術協会設立 70 周年を祝う

ふくやま美術館館長
原 田 一 敏

福山美術協会が創立され70年を迎えることとなり、心よりお祝いを申し上げます。終戦後の復興が始まってまだ生活に余裕がそれほどなかった時期に、美術を愛好する人々が集まって団体を設立することは大変なご苦労があったことと推察いたします。しかもそれが、今日まで長く継続してきたことには大きな困難もあったことと存じます。その70回目の展覧会を記念して、「第70回展記念作品集」が刊行されることは、これまで歩まれてきた会の歴史と今を知る貴重な記念集になることと確信しております。

私がふくやま美術館の館長に就任して3年目をむかえましたが、この2年の「福山美術協会会員展」を拝見して、常に100点を超える多彩なジャンルの作品が出品され、それを多くの方々が鑑賞する姿を拝見して、地域に根差した美術展であることが、すぐにわかりました。私自身、工芸史を専門としておりますので、これまで各地の県展や市民展などの審査を行ったこともあり、今も機会があれば展覧会は多く見て参りました。ふくやま美術館が設立された時の理念に、「見る」、「つくる」ということがありますが、美術館と作家、そして美術を愛好する市民との関係が近いのも、美術館としても理想の姿であるといえます。美術協会の会員の方々にこれまで続けてこられた熱意とご協力に対して敬意と感謝をしている次第です。

美術は、人の心を豊かにし、幼少からこれに触れることは感性をみがき、生活の場においても安らぎをあたえてくれます。これからも、力を合わせて福山美術協会を盛り立て、美のある暮らしを創造していただきたいと思います。80回、90回、そして100回と続けられることを祈念し、また会員皆様のご健康とご活躍を願っております。